



SGホールディングス株式会社

2021年1月29日

## 2021年3月期第3四半期決算について

SGホールディングス株式会社(本社:京都市南区、代表取締役会長:栗和田榮一)は本日、2021年3月期第3四半期決算を発表しましたので、お知らせいたします。

2021年3月期第3四半期決算の連結営業収益は、新型コロナウイルス感染症(以下「感染症」という)の影響が継続する中、テレワークの推進など企業による働き方の変化や消費者のライフスタイルの変化によるeコマース市場の拡大を背景に取扱個数が増加し、前年同四半期比9.7%増の9,820億24百万円となりました。営業利益についても、営業収益の増加に伴い885億33百万円(同38.4%増)となりました。主な業績は以下の通りです。

	2020年3月期	2021年3月期	
	第3四半期累計	第3四半期累計	前期比
営業収益	8,955億円	9,820億円	109.7%
営業利益	639億円	885億円	138.4%
経常利益	676億円	899億円	133.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	379億円	631億円	166.2%

### ■ セグメント別概況

デリバリー事業におきましては、BtoBの取扱個数は経済活動の持ち直しにより回復傾向で推移しているものの減少いたしました。BtoCの取扱個数はeコマース市場の拡大を背景に増加し、当第3四半期連結累計期間の取扱個数は前年同四半期比で6.0%増加しました。「TMS(Transportation Management System)」をはじめとする「GOAL」の営業活動、「Xフロンティア」の中継センター一部稼働開始による物量増への対応と安定した品質の提供および輸送ネットワーク全般の生産性向上に取り組み、営業収益は7,667億90百万円(前年同四半期比5.3%増)、営業利益は632億17百万円(同26.4%増)となりました。ロジスティクス事業におきましては、上期に海外における個人用防護具の緊急国際輸送を継続的に受託したことに加え、下期以降、既存顧客の物量回復と、コンテナの需給がひっ迫する中で航空及び海上コンテナのスペースを確保できたことにより、フレイトフォワーディングの収益が増加し、営業収益は1,448億46百万円(前年同四半期比41.5%増)、営業利益は100億67百万円(同386.4%増)となりました。不動産事業におきましては、計画的に保有不動産を売却し、営業収益は210億59百万円(前年同四半期比45.7%増)、営業利益は107億1百万円(同56.4%増)となりました。

## ■ 今後の見通し

感染症拡大への防止策が講じられる中で、各種政策の効果などにより持ち直しの動きが続くことが見込まれるものの、感染症拡大による経済活動の抑制が懸念されることから、わが国経済の先行きは不透明な状況が続いております。

物流業界では、感染症拡大を背景とした政府による 2021 年1月の緊急事態宣言の発令が出荷量にマイナスに影響する可能性がある一方、企業による働き方や消費者のライフスタイルの変化により、eコマース市場は、引き続き拡大することが見込まれます。当社グループにおきましては、社会インフラを担う物流企業グループとして、感染症予防の徹底により持続的かつ安定的なサービスを提供するとともに、変化するお客様のニーズに柔軟に対応した輸送サービスを提供してまいります。

## ■ 2021 年 3 月期通期連結業績予想の修正について

第 3 四半期の業績と足元の状況を踏まえ、2021 年 3 月期の業績予想を見直した結果、2020 年 10 月公表の前回予想に対し営業収益は 220 億円増加の 1 兆 2,700 億円、営業利益は 30 億円増加の 1,000 億円といたしました。

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率	(ご参考) 前期実績
営業収益	12,480 億円	12,700 億円	220 億円	1.8%	11,734 億円
営業利益	970 億円	1,000 億円	30 億円	3.1%	754 億円
経常利益	980 億円	1,010 億円	30 億円	3.1%	805 億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	675 億円	705 億円	30 億円	4.4%	472 億円
1 株当たり当期純利益	106 円 26 銭	110 円 98 銭			74 円 45 銭(※)

※当社は、2020 年 11 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1 株当たり当期純利益」を算定しております。

## ■ 配当の修正について

連結業績予想の修正に伴い、2020 年 10 月に公表した前回予想から 1 円増額の 16 円に修正いたしました。

	前回予想 (株式分割前換算)	今回修正予想 (株式分割前換算)	当期実績	(ご参考) 前期実績 (2020 年 3 月期)
第 2 四半期末			36 円 00 銭(※1・2)	22 円 00 銭(※1)
期末	15 円 00 銭 (30 円 00 銭)	16 円 00 銭 (32 円 00 銭)		22 円 00 銭(※1)
合計	-	-		44 円 00 銭(※1)

※1) 当社は、2020 年 11 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の株式分割を行っておりますので、当期第 2 四半期末実績と前期実績の配当金は、当該株式分割前の金額であります。

※2) 当期第 2 四半期末の配当金には、特別配当 10 円 00 銭を含んでおります。

SG ホールディングスグループは、純粋持株会社 SG ホールディングス株式会社と、その傘下にある佐川急便株式会社をはじめとした事業会社で構成された総合物流企業グループです。



**2021年3月期第3四半期  
決算説明資料**

2021年1月29日  
SGホールディングス株式会社

<b>1.</b>	<b>2021年3月期 第3四半期決算概要</b>	<b>1～ 9</b>
2.	2021年3月期 業績予想	10～13
3.	参考資料	14～19

## 2021年3月期第3四半期のハイライト

新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)の影響によりeコマース市場の拡大に拍車がかかり、取扱個数が増加した。Xフロンティアの中継センターが一部稼働を開始したことで、取扱個数の増加に安定した品質で対応。また、ロジスティクス事業の海外フレイトフォワーディングが、需給ひっ迫を背景に上期に続き大幅な収益増となり、業績は堅調に推移。

- (業界関連)
  - ・ eコマース市場が活況を呈し、BtoCを中心に宅配便の個数は増加
  - ・ 感染症への対策として非接触配達や非対面での配達等、荷物の受け渡し方法が多様化
  - ・ 航空貨物のスペース不足に加え、世界的なコンテナ不足によりフレイトフォワーディングの需給ひっ迫
  
- (2021年3月期第3四半期の概況)
  - ・ 感染症が拡大する中、セールスマックスの変化が継続
    - BtoBは回復傾向にあるものの減少、BtoCはeコマース市場の拡大を受け増加
    - BtoC荷物の増加が継続したことで、平均単価は前年同期比微増も予想を下回る
  - ・ Xフロンティアの中継センター一部稼働により、増加した個数に対して安定したサービスを提供
  - ・ アルコール消毒や出社時の非接触型検温の実施等、現場の感染予防を引き続き徹底
  - ・ ロジスティクス事業は、海外において上期の個人用防護具の緊急輸送に加え、下期より既存顧客の物量回復やコンテナスペースが確保できたことにより大幅に増収増益

## 連結業績サマリー

(億円)	2020年3月期 第3四半期累計	2021年3月期 第3四半期累計	前年同期比
営業収益	8,955	9,820	109.7%
営業利益 (営業利益率)	639 (7.1%)	885 (9.0%)	138.4%
経常利益	676	899	133.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	379	631	166.2%
EBITDA	812	1,077	132.7%

注記 億円未満切り捨て

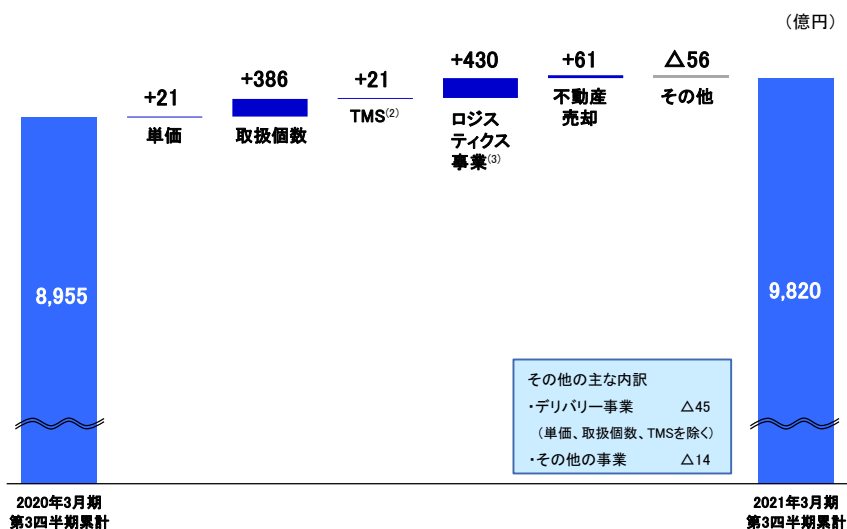
Copyright © 2021 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

3

### ■ 当社グループの業績（前年同期との比較）

- 営業収益： + 864億円（109.7%）
- 営業利益： + 245億円（138.4%）
- 経常利益： + 223億円（133.1%）
- 親会社株主に帰属する四半期純利益： + 251億円（166.2%）
- EBITDA： + 265億円（132.7%）

## 営業収益の増減分析



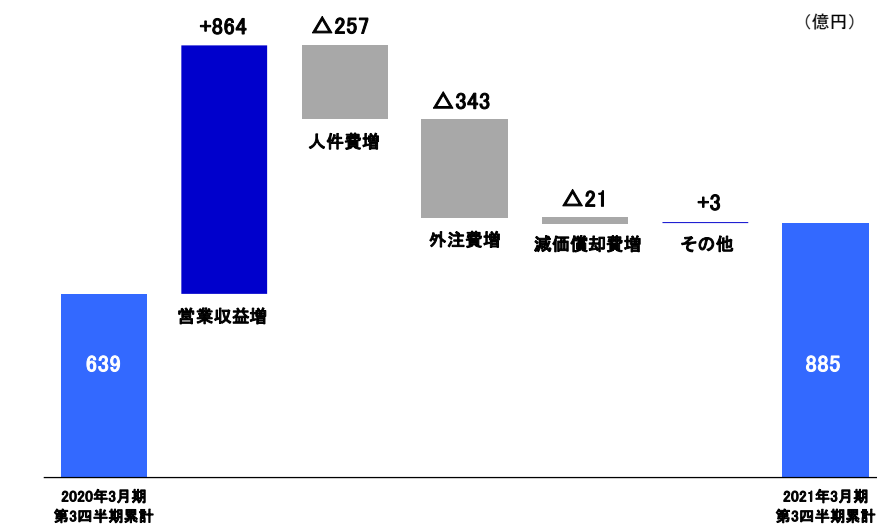
注記 (1) 億円未満切り捨て (2) TMS: Transportation Management System、当社グループの物流ネットワークを活用した宅配便以外の付加価値輸送サービス (3) TMSを除く

## ■ 実績

- 平均単価 : 643円 (前年同期比 100.3%)
- 取扱個数 : 1,062百万個 (前年同期比 106.0%)
- TMS : 693億円 (前年同期比 103.2%)

(参考) 稼働日前年増減 : 平日+4、土曜日+1、日曜祝日Δ5

## 営業利益の増減分析



注記 億円未満切り捨て

Copyright © 2021 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

5

## ■ 実績

- 営業収益 : 9,820億円 (前年同期比 109.7%)
- 人件費 : 3,294億円 (前年同期比 108.5%)
  - 取扱個数の増加、及びコロナ見舞金等、一時費用の増加
- 外注費 : 4,235億円 (前年同期比 108.8%)
  - ロジスティクス事業の外注費増加(前年同期差 +303億円)



## セグメント別業績

(億円)	2020年3月期 第3四半期累計	2021年3月期 第3四半期累計	前年同期比
<b>営業収益 合計</b>	8,955	9,820	109.7%
デリバリー事業	7,279	7,667	105.3%
ロジスティクス事業	1,023	1,448	141.5%
不動産事業	144	210	145.7%
その他の事業	507	493	97.1%
<b>営業利益 合計</b>	639	885	138.4%
デリバリー事業	509	632	124.1%
ロジスティクス事業	20	100	486.4%
不動産事業	68	107	156.4%
その他の事業	31	28	91.6%
調整額	10	16	164.8%

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 2021年3月期より「その他の事業」の一部を「デリバリー事業」に変更したため、前期の数値を変更後の数値に組み替えて比較

Copyright © 2021 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

6

### 《増収増益》

デリバリー事業、ロジスティクス事業、不動産事業

### 《減収減益》

その他の事業

### (事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

2021年3月期より、「デリバリー事業」及び「その他の事業」セグメントの配分方法を変更いたしました。変更は、事業実態やマネジメント方法に基づいたものです。

上記変更に伴い、前期の実績について以下のとおり変更いたしました。

	2020年3月期第3四半期 営業利益(億円)			2020年3月期末時点従業員数 (うち、パートナー社員)		
	調整前	調整後	増減	調整前	調整後	増減
デリバリー事業	499	509	+9	58,732 (18,145)	78,017 (36,208)	19,285 (18,063)
その他の事業	40	31	△9	22,762 (19,551)	3,477 (1,488)	△19,285 (△18,063)

## セグメント別業績概要

### デリバリー事業

- 取扱個数は、BtoBが回復基調にあるものの減少したが、BtoCの増加が上回る
- 平均単価は適正運賃收受の取組みを継続するも、相対的に小型なBtoCの荷物が増加したことにより微増にとどまる
- Xフロンティアの中継センターが一部稼働したことにより、増加した荷物に安定した品質でサービスを提供できたことに加え、待機時間の削減等、輸送ネットワーク全体の生産性向上に寄与
- 感染症対策として、テレワークの推進やオンライン営業等の取組みを継続

### ロジスティクス事業

- 上期は、エクスポランカ社による個人用防護具の緊急国際輸送が増加
- 第3四半期は、海外において既存顧客の物量回復に加え、コンテナ需給がひっ迫する中、コンテナスペースを確保できたことにより収益性が向上

### 不動産事業

- 計画的に保有不動産を売却(私募REITへの組入れ)

### その他の事業

- 代引決済が増加するも、自動車販売が減少

**注記** エクスボランカ社: 2014年5月に資本提携により当社グループに加わった。世界の主要エリアにネットワークを展開するフレイトフォワード。スリランカに本拠を置き、世界25か国・地域の71か所に拠点を有し、アパレルの航空輸送をコア領域に西はアフリカ、東は米国まで事業を展開しており、欧州においても強力な代理店網を保有。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

### 主要キャッシュ・フロー項目

(億円)	2020年3月期 第3四半期累計	2021年3月期 第3四半期累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	265	903
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 487	265
フリーキャッシュ・フロー <sup>(2)</sup>	△ 222	1,169
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 234	△ 1,151
現金及び現金同等物の増減額	△ 460	15
現金及び現金同等物の四半期末残高	556	702

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) フリーキャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

Copyright © 2021 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

8

## ■ 連結キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フロー 903億円  
 主な内容： 税金等調整前四半期純利益 995億円  
           減価償却費 190億円  
           賞与引当金の増減額 (△は減少) △69億円  
           投資有価証券売却損益 (△は益) △113億円  
           売上債権の増減額 (△は増加) △436億円  
           たな卸資産の増減額 (△は増加) 79億円  
           仕入債務の増減額 (△は減少) 124億円  
           預り金の増減額 (△は減少) 160億円  
           法人税等の支払額 △214億円
- 投資活動によるキャッシュ・フロー 265億円  
 主な内容： 有形固定資産の取得による支出 △344億円  
           関係会社株式の売却による収入 697億円
- 財務活動によるキャッシュ・フロー △1,151億円  
 主な内容： 長期借入れによる収入 200億円  
           配当金の支払 △213億円  
           子会社株式の取得による支出 △883億円

## 連結貸借対照表

(億円)	2020年3月期末	2021年3月期 第3四半期末	(億円)	2020年3月期末	2021年3月期 第3四半期末
流動資産	2,708	3,064	負債	3,496	3,865
現金及び預金	687	702	買掛債務	627	748
営業債権及び その他の債権	1,559	1,986	有利子負債	1,317	1,290
棚卸資産	288	209	その他	1,551	1,826
その他流動資産	174	165	純資産	4,230	3,855
固定資産	5,018	4,657	親会社株主帰属分	3,839	3,798
有形固定資産	3,216	3,400	非支配株主持分	391	56
のれん	40	39			
その他固定資産	1,761	1,217	負債・純資産合計	7,727	7,721
資産合計	7,727	7,721			

注記 億円未満切り捨て

### ■ 自己資本比率

- 自己資本比率：49.2%（前期末比△0.5ポイント）

---

1.	2021年3月期 第3四半期決算概要	1～9
2.	2021年3月期 業績予想	10～13
3.	参考資料	14～19

## 2021年3月期の取組み

### 2019年度～2021年度 中期経営計画 Second Stage 2021

#### <経営戦略>

- ① 物流ソリューションの進化
- ② 経営資源の価値最大化
- ③ デジタル化の推進と最新技術の導入
- ④ グローバル事業の拡大
- ⑤ 組織・人材の高度化
- ⑥ ガバナンス強化

### 2021年3月期の取組み

#### デリバリー事業

- GOAL<sup>®</sup>を中心としたTMS等のソリューション強化
- 適正運賃収受の取組みの継続
- アライアンス強化による事業領域の拡大
- 感染症対策の徹底とテレワークの推進
- IT化による生産性向上と働き方改革の推進

#### ロジスティクス事業

- 海外3PLを含むサプライチェーン全体の機能強化・拡大
- グローバルフレイトフォワーディングのネットワーク拡大
- ジャパンレーンを中心とした越境EC等サービスの拡大

#### 不動産事業

- 物流機能を強化する施設開発の推進
- 保有不動産の継続的な売却

#### その他の事業

- 物流附帯業務としてサービス品質の維持・向上
- 物流と連携した新たな機能・サービスの開発

注記 「GOAL」はSGホールディングス株の登録商標

## 連結業績予想及び配当予想について

(億円)		2020年3月期 実績	2021年3月期 前回業績予想 (2020年10月30日公表)	2021年3月期 業績予想	前期比	前回予想比
営業収益		11,734	12,480	12,700	108.2%	101.8%
営業利益 (営業利益率)		754 (6.4%)	970 (7.8%)	1,000 (7.9%)	132.5%	103.1%
経常利益		805	980	1,010	125.4%	103.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益		472	675	705	149.1%	104.4%
EBITDA		988	1,235	1,265	128.0%	102.4%
一株当たり 配当金 <sup>(3)</sup>	第2四半期末	22円	36円	36円		
	期末	22円	15円	16円	-	-
	合計	44円	-	-		

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 2021年3月期業績予想の前提、デリバリー事業平均単価643円、取扱個数13.94億個 (3) 当社は、2020年11月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株で株式分割を行いました。2021年3月期(予想)の1株当たり期末配当金より、当該株式分割を反映したため、年間配当金合計は「-」と記載しております。今期の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の年間配当金は34円となります。

Copyright © 2021 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

12

### ■ 通期業績予想（前回予想との比較）

第3四半期の業績と足元の状況を踏まえ、通期業績予想を上方修正

- 営業収益： + 220億円
- 営業利益： + 30億円
- 経常利益： + 30億円
- 親会社株主に帰属する当期純利益： + 30億円
- EBITDA： + 30億円
  
- 想定平均単価 643円 ± 0円
- 想定取扱個数 1,394百万個 + 22百万個

### ■ 配当予想

- 2021年3月期第2四半期末配当36円の内訳は、普通配当26円と特別配当10円
- 2021年3月期期末配当（予想）より、2020年11月1日を効力発生日とした普通株式1株につき2株の株式分割を反映した金額を記載

### 【参考】営業費用の前期増減内訳（前回予想差）

- 人件費 +320億円 (+ 55億円)
- 外注費 +325億円 (+135億円)
- 減価償却費 + 35億円 (± 0億円)
- その他 + 40億円 (± 0億円)

## セグメント別業績予想

(億円)	2020年3月期 実績	2021年3月期 前回業績予想 (2020年10月30日公表)	2021年3月期 業績予想	前期比	前回予想比
<b>営業収益 合計</b>	11,734	12,480	12,700	108.2%	101.8%
デリバリー事業	9,554	9,995	10,100	105.7%	101.1%
ロジスティクス事業	1,358	1,600	1,725	127.0%	107.8%
不動産事業	162	225	230	141.6%	102.2%
その他の事業	660	660	645	97.7%	97.7%
<b>営業利益 合計</b>	754	970	1,000	132.5%	103.1%
デリバリー事業	598	715	725	121.2%	101.4%
ロジスティクス事業	20	88	110	533.2%	125.0%
不動産事業	78	110	113	143.1%	102.7%
その他の事業	43	40	35	81.4%	87.5%
調整額	13	17	17	125.6%	100.0%

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 2021年3月期より「その他の事業」の一部を「デリバリー事業」に変更したため、前期の数値を変更後の数値に組み替えて比較

Copyright © 2021 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

13

## ■ セグメント別前回予想差

- ・ 営業収益 +220億円
- デリバリー事業 +105億円
- ロジスティクス事業 +125億円
- 不動産事業 + 5億円
- その他の事業 △ 15億円
  
- ・ 営業利益 + 30億円
- デリバリー事業 + 10億円
- ロジスティクス事業 + 22億円
- 不動産事業 + 3億円
- その他の事業 △ 5億円



---

1.	2021年3月期 第3四半期決算概要	1～ 9
2.	2021年3月期 業績予想	10～13
3.	<b>参考資料</b>	<b>14～19</b>

## 連結業績サマリー(四半期連結会計期間)

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期	
	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比
営業収益	3,176	109.1%	3,172	106.9%	3,471	112.8%
営業利益 (営業利益率)	277 (8.7%)	147.7%	247 (7.8%)	134.4%	360 (10.4%)	134.5%
経常利益	288	149.7%	239	121.9%	372	129.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	172	170.3%	200	169.6%	258	161.2%
EBITDA	340	138.4%	312	129.8%	425	130.5%

注記 億円未満切り捨て

### セグメント別業績(四半期連結会計期間)

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期	
	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比
<b>営業収益 合計</b>	3,176	109.1%	3,172	106.9%	3,471	112.8%
デリバリー事業	2,432	104.4%	2,492	103.5%	2,742	108.0%
ロジスティクス事業	407	129.0%	492	139.2%	548	155.1%
不動産事業	172	159.4%	18	104.3%	19	104.9%
その他の事業	163	105.0%	168	90.6%	161	97.1%
<b>営業利益 合計</b>	277	147.7%	247	134.4%	360	134.5%
デリバリー事業	156	126.8%	180	120.8%	295	124.8%
ロジスティクス事業	20	399.3%	42	555.5%	37	475.8%
不動産事業	84	180.8%	11	120.4%	11	93.4%
その他の事業	9	92.4%	9	68.8%	9	137.8%
調整額	6	257.7%	3	92.2%	6	171.0%

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 2021年3月期より「その他の事業」の一部を「デリバリー事業」に変更したため、前期の数値を変更後の数値に組み替えて比較

## 商品・サービスの状況

### デリバリー事業 取扱個数・単価の状況

(百万個、円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第3四半期累計	
	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比
<b>取扱個数合計</b>	342	104.7%	344	104.4%	376	108.8%	1,062	106.0%
飛脚宅配便 <sup>(1)</sup>	329	105.5%	329	104.8%	361	109.2%	1,020	106.5%
その他 <sup>(2)</sup>	12	89.0%	14	95.2%	14	100.2%	41	94.8%
<b>平均単価</b>	634	100.6%	643	100.1%	650	100.2%	643	100.3%

### e-コレクト<sup>(3)</sup> 個数・決済金額の状況

(百万個、億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第3四半期累計	
	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比
<b>個数</b>	22	101.6%	22	101.5%	23	103.9%	68	102.4%
<b>決済金額</b>	2,467	101.7%	2,538	99.3%	2,733	107.2%	7,740	102.8%

### TMSの状況

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第3四半期累計	
	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比
<b>売上高</b>	212	102.2%	234	102.1%	247	105.1%	693	103.2%

注記 (1) 飛脚宅配便は、佐川急便株式が国土交通省に届け出ている宅配便の個数 (2) その他は、飛脚ラージサイズ宅配便及びその他の会社の取扱個数 (3) 「e-コレクト」はSGホールディングス株式の登録商標

## 営業費用の内訳

### 連結決算 主要費用項目

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第3四半期累計	
	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比
営業費用 合計	2,899	106.5%	2,924	105.1%	3,111	110.7%	8,934	107.4%
人件費	1,096	109.3%	1,094	106.5%	1,104	109.6%	3,294	108.5%
外注費(備車費含む)	1,300	104.6%	1,379	106.5%	1,555	114.9%	4,235	108.8%
燃料費	20	74.9%	25	86.6%	24	85.5%	70	82.5%
減価償却費	62	111.3%	64	115.3%	64	110.9%	191	112.5%
その他経費	419	106.7%	361	96.4%	362	99.8%	1,142	101.1%

### デリバリー事業 主要費用項目<sup>(2)</sup>

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第3四半期累計	
	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比	21年3月期	前年同期比
営業費用 合計	2,380	103.5%	2,409	102.4%	2,567	106.9%	7,357	104.3%
人件費	964	110.7%	948	106.1%	963	110.6%	2,877	109.1%
外注費(備車費含む)	1,097	99.0%	1,128	99.8%	1,257	105.3%	3,483	101.5%
燃料費	20	76.3%	25	87.8%	23	87.1%	69	83.9%
減価償却費	44	117.5%	44	115.3%	44	113.2%	133	115.3%
その他経費	253	99.3%	262	101.3%	277	103.0%	793	101.2%

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 2021年3月期より「その他の事業」の一部を「デリバリー事業」に変更したため、前期の数値を変更後の数値に組み替えて比較

## 従業員・車両・拠点の状況

(人、台、店)		2020年3月期末	2021年3月期 第3四半期末
連結従業員数	合計	95,291	97,049
(うちパートナー社員等 <sup>(1)</sup> )		(43,928)	(45,079)
デリバリー事業 <sup>(2)</sup>		78,017	79,386
		(36,208)	(36,486)
ロジスティクス事業		12,954	13,072
		(5,995)	(6,699)
不動産事業		69	64
		(-)	(-)
その他の事業 <sup>(2)</sup>		3,477	3,780
		(1,488)	(1,663)
全社(共通)		774	747
		(237)	(231)
佐川 急便	車両台数	26,661	28,188
	主な拠点数	857	864
	中継センター	24	23
	営業所	427	428
	小規模店舗 <sup>(3)</sup>	406	413

注記 (1) 期中の平均人員数 (2) 2021年3月期より「その他の事業」の一部を「デリバリー事業」に変更したため、前期の数値を変更後の数値に組み替えて比較  
(3) サービスセンター、デリバリーセンターの合計

## ディスクレイマー

本資料は、SGホールディングス㈱(以下、「当社」とします)及びそのグループ会社(以下当社とあわせて、「当社グループ」とします)の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。また、本資料の全部または一部を当社の承諾なしに公表または第三者に伝達することはできません。

本資料に、当社に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれることがありますが、これらに限られるものではありません。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提(仮定)の下になされています。これらの記述または前提(仮定)は、客観的には不正確であったり、または将来実現しないという可能性があります。

このような事態の原因となりうる不確実性やリスクとしては、金利の変動、株価の低下、為替相場の変動、保有資産の価値変動、信用の低下、国内外の企業の生産活動または個人消費の低迷、原油価格の高騰、人件費の高騰、eコマース市場の低成長、㈱日立物流との資本業務提携のシナジーの未実現やディスシナジーの発現、システム・事務・人的・法令違反リスク、不正・不祥事の発生、風評・風説等によるイメージ・信用の低下、事業戦略・経営計画が奏功しないリスク、業務範囲の拡大等に伴う新たなリスク、経済・金融環境の変動、競争条件の変化、大規模災害等の発生、業務提携・外部委託等に伴うリスク、繰延税金資産の減少その他様々な要因が挙げられますが、これらに限られません。

なお、本資料における記述は本資料の日付(またはそこに別途明記された日付)時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。これらの要因により、将来の見通しと実際の結果は必ずしも一致するものではありません。

また、本資料に記載されている当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。